

平成 28 年 6 月 1 日
宮崎交通株式会社
ヤマト運輸株式会社

路線バスが宅急便を輸送する「^{きやく か こんさい}客貨混載」の路線拡大
～延岡市－高千穂町、日向市－諸塚村を結ぶ 2 路線で「客貨混載」を開始し、
地域住民の生活サービス向上を実現します～

宮交ホールディングス傘下の宮崎交通株式会社（代表取締役社長：菊池 克頼、以下「宮崎交通」）とヤマトホールディングス傘下のヤマト運輸株式会社（代表取締役社長：長尾 裕、以下「ヤマト運輸」）は、関係地方自治体（宮崎県、延岡市、高千穂町、日之影町、諸塚村、日向市及び美郷町）と連携し、本年 6 月 1 日より、過疎化や高齢化が進む中山間地域におけるバス路線網の維持と物流の効率化による地域住民の生活サービス向上を目的として、宮崎県の県北に位置する延岡市－高千穂町、諸塚村－日向市を結ぶ 2 路線で「客貨混載」を開始します。

1. 背景

平成 27 年 10 月に宮崎交通とヤマト運輸は、西都市－西米良村を結ぶ路線バスで宅急便を輸送する「客貨混載」を開始し、過疎化や高齢化が進む中山間地域におけるバス路線網の維持と物流の効率化による地域住民の生活サービス向上に取り組んできました。中山間地域のバス路線網が維持されると共に、ヤマト運輸のセールスドライバー（以下 SD）が地域に滞在する時間が増え、集荷締め切り時間が延長したことで、地域のお客さまから好評をいただいています。

そうした中、宮崎県の県北に位置する延岡市・高千穂町・日之影町・諸塚村・日向市・美郷町でも過疎化や高齢化が進み、西都市・西米良村と同様にバス路線網の維持と物流の効率化による地域住民への生活サービス向上が課題となっていました。

このたび、宮崎交通とヤマト運輸は、地域住民の生活サービス向上を目的として延岡市－高千穂町、諸塚村－日向市を結ぶ 2 路線で新たに「客貨混載」を開始します。今回の取り組みにより、バス路線網の維持と高千穂町から県内への当日便を開始するなど、地域住民の生活サービス向上を実現します。

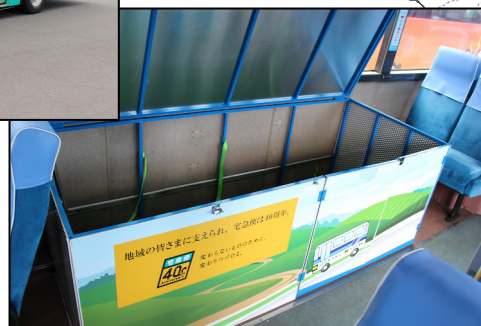
2. 取り組みの内容

(1) 座席の一部を荷台スペースにした路線バスを 4 台導入

宅急便を積載するため、中央部に荷台スペースを確保した路線バスを計 4 台（2 路線で 2 台ずつ）導入します。また、客貨混載専用のバスと分るように「ヒト・ものハコぶエコロジーバス」と銘打ったラッピングを施しました。

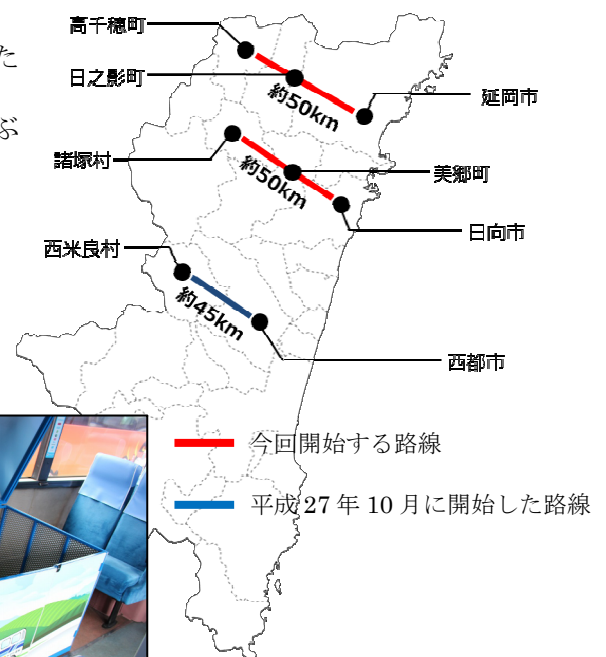


【バス全体の写真】



【荷台スペースの写真】 サイズ：縦 197cm×横 80cm×高さ 70cm

※諸塚村－日向市の路線バスは回送便のため、荷台スペースのみ（荷台なし）



(2) 延岡市—高千穂町を結ぶ路線バスで宅急便を輸送（別紙：図①参照）

●高千穂町を発着する当日便を開始

高千穂町で9時15分までにお預かりした宅急便を県内全域へ当日中にお届けします。また、延岡市で11時30分までにお預かりした宅急便を高千穂町に当日中にお届けします。

(3) 諸塚村—日向市を結ぶ路線バスの回送便で宅急便を輸送（別紙：図②参照）

●諸塚村と美郷町の集荷締め切り時間が2時間延長

諸塚村—日向市を結ぶ路線バスの回送便でヤマト運輸のSDが諸塚村と美郷町で集荷した宅急便を輸送することにより、両地域を担当するヤマト運輸のSDが東郷美郷センター（日向市）に戻る必要がなくなるため、地域に滞在する時間が増え、当日発送の集荷締め切り時間を15時から17時まで延長できるようになります。

3. 「客貨混載」によるメリット

(1) 地域のお客さま

地域のバス路線網が維持され、安定的に路線バスを利用できることで、病院やスーパーなど多様な施設へアクセスでき、生活基盤の維持・向上につながります。

また、高千穂町から県内全域、延岡市から高千穂町へ宅急便を当日中に送ることができるようになります。さらにヤマト運輸のSDが諸塚村と美郷町に滞在できる時間が増えるため、当日発送の集荷締め切り時間が15時から17時まで延長されるなど、宅急便のサービスをより便利にご利用いただけるようになります。

(2) 宮崎交通

路線バスの空きスペースで宅急便を輸送することで、バス路線の生産性が向上し、バス路線網の維持につながる新たな収入源を確保することができます。

(3) ヤマト運輸

延岡市から高千穂町まで約50kmかけて輸送していたトラックの走行距離が10分の1(5km)になり、CO2排出量の削減にもつながります。また、諸塚村と美郷町を担当するSDが地域に滞在する時間が増えるため、お客さまからのご要望に対して柔軟にお応えできるようになります。

4. 出発式の様子

本日、「客貨混載」の開始に伴い、延岡市と諸塚村の2カ所で行いました。



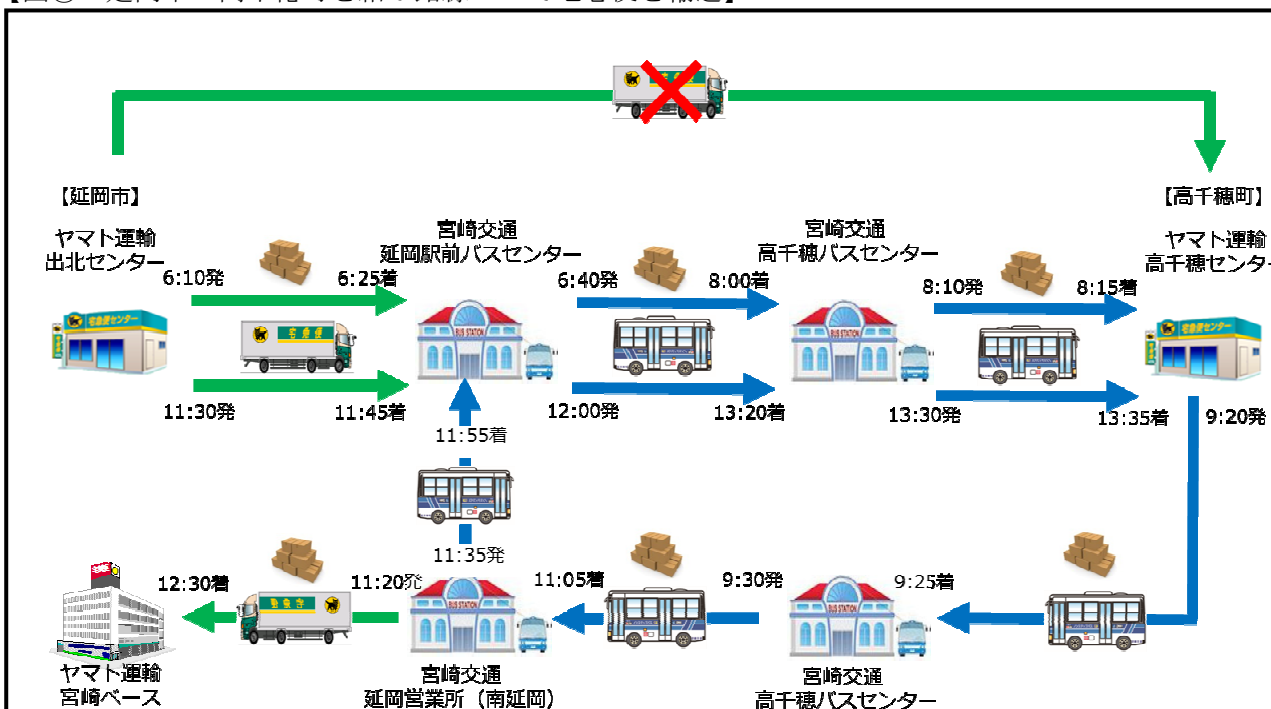
【延岡市（宮崎交通 延岡駅前バスセンター）】左から
宮崎交通 代表取締役社長 菊池 克頼
宮崎県 総合政策部総合交通課長 野口 和彦
高千穂町 副町長 興梠 高彦
延岡市 市長 首藤 正治
日之影町 副町長 工藤 裕士
ヤマト運輸 宮崎主管支店長 柴田 哲也



【諸塚村（宮崎交通諸塚バス停 横広場）】左から
宮崎交通 代表取締役社長 菊池 克頼
宮崎県 総合政策部総合交通課長 野口 和彦
日向市 総合政策課長 神崎 康徳
諸塚村 副町長 藤崎 猪一郎
美郷町 企画情報課長 下田 光
ヤマト運輸 宮崎主管支店長 柴田 哲也

【別紙】：客貨混載の運行フロー図

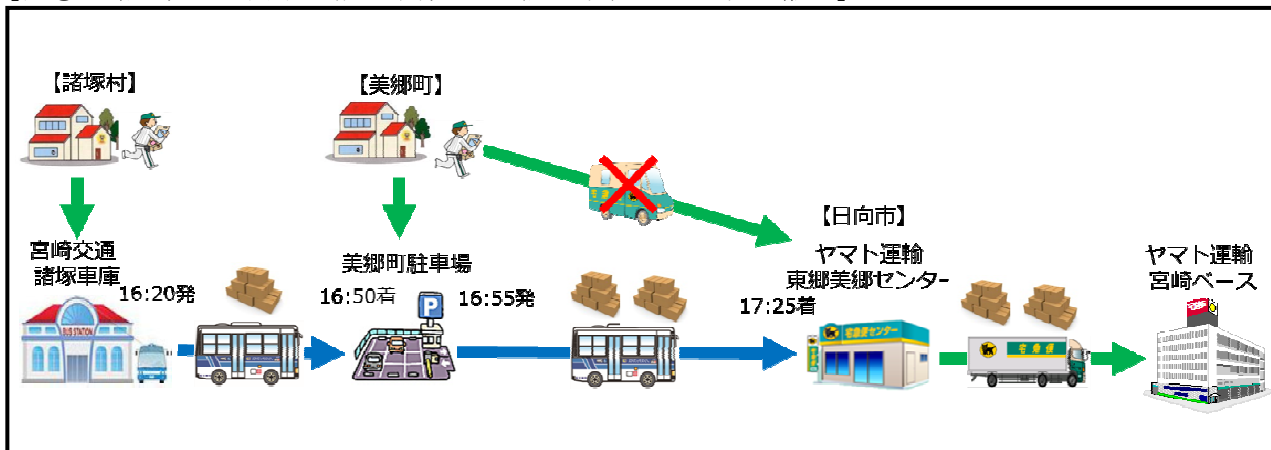
【図①】：延岡市－高千穂町を結ぶ路線バスで宅急便を輸送】



※延岡発 1日2便：延岡駅前バスセンターで高千穂町向けの宅急便を路線バスに積み込み、高千穂センターでヤマト運輸に引き渡します。

※高千穂発 1日1便：高千穂センターで県内向け当日便を路線バスに積み込み、延岡営業所でヤマト運輸に引き渡します。

【図②】：諸塚村－日向市を結ぶ路線バス（回送便）で宅急便を輸送】



※諸塚村発 1日1便運行：諸塚車庫発の路線バス（回送便）にヤマト運輸のSDが地域のお客様から集荷した宅急便を宮崎交通の諸塚車庫と美郷町駐車場の2カ所で積み込み、日向市にあるヤマト運輸の東郷美郷センターで引き渡します。

【客貨混載とは…】

人と貨物を同じ車両で一緒に運ぶことやお客さまの輸送に付随して貨物を運ぶことを意味します。現行の制度*では、トラックは荷物を運ぶ業務、バスは人を運ぶ業務と明確化されていますが、一定の条件下でバス事業者等が少量の郵便物や新聞、その他の貨物を運ぶことができます。

※道路運送法第82条

一般乗合旅客自動車運送事業者は、旅客の輸送に付随して、少量の郵便物・新聞紙その他の貨物を運送することができる。